

ちょっといい話



去る土曜日に村岡区の方と話をする機会がありました。2年生が校外学習をした20日の出来事です。その方は、「兎野の高原植物園を尋ねた際、中学生が爽やかな声で私にあいさつしてくれました。小代中学校の生徒でした。見ず知らずの私たちにあいさつをしてくれたことがありがたくて、とても清々しい気持ちになりました。褒めてあげて、これからも頑張るように伝えてください。」と話してくださいました。



私はうれしくてうれしくて、早く生徒に伝えてやりたいと心から思いました。

あいさつは社会に出て行く上で必要不可欠のものだとはよく言われます。生徒たちの自然に行ったあいさつが、相手の心を開かせ、爽やかにし、自分からうれしかった気持ちを返したいと感じさせているのです。あいさつしたのは「〇〇さん」ですが、された側は「小代中学校の生徒さん」なのです。「校風を高める」とはこういうことを言うのでしょうか。小代中学校の一員だということをひしひしと感じる場面です。生徒たちに大きな可能性と、誇りを感じます。

知性を磨き 身を鍛え 平和の道を歩まなむ 伸びよ 伸びよ 小代中学校